

第 13 回教育委員会会議録

日 時	平成 27 年 10 月 21 日 開会 9 : 30 ~ 閉会 11 : 00
会 場	教育長室
出 席 者	山 田 律 子 委員長 佐々木 義 朗 委員 荒 井 由紀恵 委員 明 石 光 正 委員 宮 崎 肇 教育長
参 与	島 倉 弘 行 教育部長 澤 田 徹 教育部次長 西 野 典 男 教育部次長 (学校指導担当) 荒 川 裕 昭 企画総務課長 渡 邊 誠 司 学校教育課長 竹 内 浩 二 生涯学習課長 村 井 安 之 文化施設課長
書 記	堀田 企画総務課総務係長
議題及び 議事の概要	別紙のとおり

議題及び会議の概要

委員長	<p>ただ今から、平成 27 年第 13 回教育委員会会議を開催いたします。</p> <p>報告議案の追加についてであります。千歳市立図書館における雑誌スポンサー制度の導入についてを報告第 2 号として、平成 27 年度千歳市立図書館蔵書点検結果による不明本冊数についてを報告第 3 号として追加いたします。</p> <p>また、秘密会についてであります。議案第 1 号千歳市社会教育委員の委嘱について、議案第 2 号千歳市公民館運営審議会委員の委嘱について、議案第 3 号平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果の公表については、何れも意思形成過程途中のため、秘密会といたします。</p> <p>報告議案の追加及び秘密会の件についてよろしいでしょうか。</p>
委員	一同了承
委員長	会議録の承認についてお願いします。
総務係長	<p>前回、10 月 1 日に開催されました第 12 回教育委員会会議は議案が 2 件、議案第 1 号教育委員会委員長の選挙について、議案第 2 号委員長職務代理者の指定について、何れも原案の通りご決定いただいております。また、報告が 3 件、報告第 1 号フッ化物洗口事業の実施状況について、報告第 2 号平成 27 年度千歳市民文化表彰受賞者について、報告第 3 号イングリッシュキャンプ 2015 の実施について、以上 3 件でございます。</p>
委員	会議録承認の件よろしいですか。
委員	一同了承
委員長	それでは、教育長からの報告をお願いいたします。
教育長	<p>平成 27 年度 10 月の定例校長会での内容です。</p> <p>1 点目は、平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果の公表方法ということで、公表時期は 11 月上旬を予定しているということ、また、学校ごとの公表は学校の序列化や学校間の過度な競争が生じる恐れがあること、小規模校では個人が特定されることから、教育委員会としては公表は行わないこと、しかし、各学校においては、説明責任の観点から、わかりやすく工夫し、学校だよりやホームページでの公表を求めたものであります。また、北海道教育委員会が作成する北海道版結果報告書に千歳市の調査結果を掲載することに同意するという説明を行いました。</p> <p>2 点目は、人事関係ですが、他管からの転入者については、出来るだけ自ら確認を行ってほしいということをお願いしました。</p>

<p>委員長</p>	<p>3点目は、第3回定例会市議会における学校関係の質問ですが、後程教育部長から説明いたします。</p> <p>教育長からの報告についてご質問等ございませんか。</p> <p>次に、第1号議案の千歳市社会教育委員の委嘱について事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>一同了承：秘密会（原案可決）</p>
<p>委員長</p>	<p>次に、第2号議案の千歳市公民館運営審議会委員の委嘱について事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>一同了承：秘密会（原案可決）</p> <p>次に、第3号議案の平成27年度全国学力・学習状況調査結果の公表について事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>一同了承：秘密会（原案可決）</p>
<p>委員長</p>	<p>次に、報告第1号、平成27年度ハイパーQU検査の分析結果についてご説明願います。</p>
<p>次長（学校指導担当）</p>	<p>報告第1号、平成27年度ハイパーQU検査の分析結果についてご報告申し上げます。</p> <p>今年度6月に、市内小学校3年生から中学校2年生まで実施しました、ハイパーQU検査の結果について、特徴的なことをまとめました。</p> <p>初めに、学校生活意欲です。学校生活意欲は、たとえば、「あなたのクラスの人たちは、あなたに声をかけてくれたり、親切にしてくれたりしますか」「あなたのクラスは、みんなでなかよく協力しあっていると思いますか」など、小学校9項目、中学校20項目の「やる気のあるクラスを作るためのアンケート」の結果から児童生徒の学校生活における意欲や適応度の様子を見ます。総合点は全国平均を100として、市内の児童生徒と比較しておりますが、全国平均を上回り、学年が上がるごとに高まりがみられます。特に、小6と中1とを比較すると、中1で大きな高まりがみられ、この調査から得られた学校生活意欲に関するデータからは、いわゆる「中1ギャップ」はみられないと考えます。今年度の市内の中学校1年生の学校生活意欲を小学校6年生の時の結果と比較すると、6年生の時の「学校生活意欲の総合点」が「低い」「やや低い」「ふつう」が減少し、中学校1年生では「やや高い」「高い」が大幅に増加しています。中学校</p>

進学後、「学校生活意欲」の高まりは相当大きいと考えられます。小学校3年生から6年生では、学校生活意欲の各領域で全国平均を上回り、中学校1・2年生でも学校生活意欲の各領域で全国を上回っています。

次に、学級満足度です。学級満足度は、例えば、「あなたが失敗したとき、クラスのひとがはげましてくれることがありますか」「あなたはクラスの人から、無視されているようなことがありますか」など小学校12項目、中学校20項目の「いごちのよいクラスにするためのアンケート」の結果から、現在の学級集団の状況や児童・生徒一人一人様子を把握することができます。千歳市内の児童生徒は、学年が上がるごとに「学級生活満足群」に属する児童・生徒が増加し、「学級生活不満足群」に属する児童・生徒が減少しています。全国と比較すると、小学校中学年では同様であるが、小学校高学年、中学校においては相当良好な傾向がみられます。「非承認群」は自分の存在や行動が、級友や教師から承認されていないと感じる度合いであり、「侵害行為認知群」は不適応感やいじめ・冷やかしなどを受けている度合いを示しています。千歳市では、「非承認群」に属する児童生徒の割合が全国と比較すると全般に多い傾向にあり、特に小学校中学年で著しい傾向にあります。いわゆる管理型の学級形態であります。「侵害行為認知群」に属する児童生徒の割合が全国と比較すると相当少ない傾向にあり、良好状態と考えます。「不適応感やいじめ・冷やかしなどを受けている度合いが少ない」傾向にあります。

次にソーシャルスキルです。ソーシャルスキルは、例えば「友達の気持ちを考えながら話をしていますか」「友達との約束を守っていますか」など、小学校16項目、中学校18項目の「日常の行動を振り返るアンケート」の結果から、児童生徒の学校生活における人と上手に関わりを持つ技術の定着状況を捉えます。また、ソーシャルスキルは「配慮」と「かかわり」の尺度をもとに集団の状態が判断されます。千歳市では、ソーシャルスキルが高く、ルールやマナーが学級内でしっかりと共有されている望ましい状態と考えられます。どの学年においても他者を尊重する姿勢や能動的に友人と関わる姿勢の度合いが高いことを示しています。ソーシャルスキルは「配慮」と「かかわり」の尺度をもとに集団の状態が判断される。「配慮」とは、「友達の気持ちを考えながら話をしていますか」などの質問に対する回答から、他者を尊重する姿勢をみる度合いであり、「かかわり」とは「みんなのためになることは、自分で見つけて実行していますか」などの質問に対する回答から、能動的に友人と関わる姿勢をみる度合いです。

学力とのクロス集計を全国と比較すると、学力が高く、「学級生活満足群」とその周辺に属するA群などの児童生徒が全般に多く、一斉指導の対応量は比較的少なく、指導しやすい集団であることを示しています。しかし、小学校4年生については、際立って低い傾向がみられ、標準学力検査の結果においても、小学校2年生以降年々成績の低下がみられることから、学習指導と合わせて、

委員長	<p>学級づくりに向けた具体的な改善策を講じる必要があります。</p> <p>各学校では、検査結果をもとに、校内研修などで、改善策を検討し学級づくりに臨んでおります。</p> <p>今後、2回目の検査を実施することで、改善策の効果を検証していきます。</p> <p>以上、今年度のハイパーQ U検査結果をご報告いたします。</p> <p>報告第1号についてご質問等ございませんか。</p> <p>報告第1号（報告済）</p>
委員長	<p>次に、報告第2号千歳市立図書館における雑誌スポンサー制度の導入についてご説明願います。</p>
文化施設課長	<p>報告第2号、千歳市立図書館における雑誌スポンサー制度の導入についてご報告申し上げます。</p> <p>千歳市立図書館では、市民協働まちづくりの一環として、新たに雑誌スポンサー制度を導入することとし、10月からスポンサーの募集を開始しました。現在、図書館の管理運営は、指定管理者である株式会社山三ふじやが実施しており、今回の雑誌スポンサー制度は、昨年度の指定管理者の選定における提案のあった事業の実施となります。</p> <p>制度導入の目的は、雑誌を広告媒体として活用することにより、地域による図書館サポートの仕組みづくりを推し進め図書館の新たな図書資料を確保し、市民に対する図書館サービスの向上に資するものです。</p> <p>内容についてであります。広告を掲載しようとする者が、図書館の指定する雑誌リストの中から雑誌を選定し、広告掲載料として雑誌の購入費相当分を負担します。スポンサー対象者は、企業、個人の事業者、公共的団体などです。対象の雑誌は、週刊誌、月刊誌、季刊誌など163冊であり、年間購読料は月刊誌で4,600円から15,000円程度となります。広告規格と表示方法は、最新号カバーの表面にスポンサー名を掲載し、表示は、白地に黒の印字で大きさは、縦4cm、横13cm以内とし、最新号カバーの裏面に広告を1枚掲載します。</p> <p>また、導入により削減される雑誌購入予算は、新たな図書資料購入費に充当する予定であります。</p>
委員長	<p>報告第2号についてご質問等ございますか。</p> <p>報告第2号（報告済）</p>
委員長	<p>次に報告第3号、平成27年度千歳市立図書館蔵書点検結果による不明本冊数</p>

文化施設課長	<p>についてご説明願います。</p> <p>報告第3号、平成27年度千歳市立図書館蔵書点検結果による不明本冊数についてご報告いたします。</p> <p>市立図書館の蔵書点検は、8月28日から9月5日までの期間に実施しており、この結果、平成27年は400冊の不明本が確認され、前年と比較して6冊の増となっております。その内訳であります。前年と比較して増加している分野につきましては、類目「社会科学」が27冊増の47冊で、主に社会、教育、風俗習慣等の資料が、類目「自然科学」が21冊増の34冊で、主に自然の資料が、類目「技術」が40冊増の71冊で主に家政学、料理の資料が不明となっております。</p> <p>また、逆に減少している分野は、類目「文学」で94冊減の47冊となっております。うち文庫本が53冊減の23冊となっております。</p> <p>また、前年と比較して特に顕著な傾向といたしましては、図鑑や事典などの高額な図書が紛失しており、内訳としましては、1万円以上の図書が13冊増の14冊、5千円以上1万円未満が前年度0冊に対し35冊となっております。</p> <p>次に過去5年間の不明本推移ですが、過去5年間では平成26年度に続き2番目少ない冊数となっております。</p> <p>次に不明本の削減対策についてであります。館内見回時間の間隔短縮、防犯ミラーの設置、不明本リストの玄関ロビーへの掲示、不明本の高い蔵書をカウンター近くへ移動、ブックカート及びバスケット使用の周知・徹底などを実施してきましたが、今回の結果につきましては、不明本の削減には至っていない状況となっております。</p> <p>高額な図書の紛失冊数が昨年より増加していることなどから、今後も不明本対策については、継続して実施するとともに新たな対策が必要であり、今後の新たな不明本削減対策といたしましては、本の持ち出しは犯罪行為であること周知するためのポスターの掲示による啓発、リュックなどの大きなカバンの持ち込みを制限するためのロッカーの設置や図書館の施設の構造上、特に受付カウンターから左側の一般閲覧室の書架が死角となっておりますことなどから、防犯カメラの設置を指定管理者と協議の上、導入の可否につきまして検討してまいります。</p>
委員長	<p>報告第3号についてご質問等ございますか。</p> <p>報告第3号（報告済）</p>
委員長	<p>これを持ちまして報告を終えましたが、その他で何かございますか。</p>

<p>学校教育課 長</p>	<p>9月の教育委員会会議で報告いたしましたフッ化物洗口の実施状況の際に委員から保管時の施錠についてのご意見をいただきましたことから、各校での状況を確認しましたので、その状況について報告させていただきます。</p> <p>配送した洗口液の保管につきましては、各学校では、実施管理者である教頭、主幹教諭、養護教諭が責任を持って管理し、室内に管理者などの教諭が不在になる場面や業務終了時には、必ず施錠しております。</p> <p>担当課といたしまして、全ての学校の洗口液の保管状況を確認し、各学校が保管に十分に留意し、適正に保管していると判断しております。</p>
<p>委員長</p>	<p>洗口液の保管については適正に行われているということでございます。ご質問などございますか。</p> <p>その他ございませんか。これをもちまして本日の会議を終了します。</p>